

# こうふ町 議会だより

## 町勢

世帯数/1,167世帯  
人口/3,901人  
(平成16年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



**老いも若きも負けるもんか！**  
**新米コシヒカリで元気のある<sup>ちや</sup>邑づくり**

「大飯喰いフェスティバル」貝田集落

平成15年度に使ったお金69億2,082万円……………	2 P
決算特別委員会参考意見……………	9 P
<b>いっぱん質問</b> 町政を問う……………	11 P
議会等改革に関する調査特別委員会……………	15 P
私もひと言……………	16 P

# 一般会計

# 46億1,691万円を認定

## 前年対比8%減

### 15年度

防災情報センター建設費に

1億2964万円

久連地区集落道整備事業費に

2億3407万円

### 一般会計

平成16年9月定例会は、22日に召集され会期を10月1日までの10日間と定めて開かれました。

今回の定例会には、平成15年度の一般会計と15の特別会計の決算議案は、決算特別委員会で審議、また町長提出議案28件は慎重に審議され、いずれも原案通り可決されました。

2日目の本会議では教育委員2名の選任を全員一致で同意しました。

また、同日2名の議員が一般質問に立ち、町政発展に向けての活発な議論がかわされました。

### 特別会計

平成15年度の一般会計は47億4073万円の歳入に対して、歳出は46億1691万円で差し引き額は1億2382万円の黒字決算となった。

歳入は、前年度に比べて8%の減となった。

主なものとしては町税

10億6477万円、地方交付税11億1738万円、国庫支出金1億51万円、県支出金4億9966万円、繰入金8億6959万円、町債7億1410万円など合計で4億16

89万円の減となった。歳出も前年度に比べて

8%の減となった。

費目別の主な歳出は、

総務費8億8393万円、民生費5億5791万円、衛生費3億1633万円、

農林水産業費8億6219万円、土木費2億80

35万円、消防費1億105万円、教育費3億3

10万円、公債費5億8040万円、諸支出金5

億8574万円となっている。

平成15年度の15特別会計は、25億7107万円の歳入に対して歳出は23億390万円となり2億6717万円の黒字決算となった。

しかし、単年度では前年度繰越金2億2904万円を差し引くと3813万円となる。

## 監査意見

## 住民参画、協働による

## 自立した元気のある町づくり

## に傾注されることを強く望む

地方分権型社会の実現が求められている今日、住民が安心・安全で暮らせ、将来の展望を持てる活力のある地域社会を築くことが、地方自治体に課せられた重要な課題である。

江府町においても急速に進む少子高齢化の中、農林水産業等の振興、保健・医療・福祉の充実、子育て・教育の充実等一般の政策課題を着実に推進することが求められています。

市町村合併につきましても、単独で町政を維持することとなりました。このような状況の中、三位一体の改革による地

方交付税、国庫補助金の削減や長引く景気低迷による税収の減少により更に厳しい財政運営が余儀なくされており。

今後の行財政につきましては、中、長期的な計画を樹立され、最小の経費で最大の効果を得るため、官民の役割分担の中で住民サービスのあり方等検討されたい。

合理化はもろろんの事でありますが、合理化のみを追求するのではなく、小さな町の特徴を活かしメリハリのある行財政運営を行い、住民参画、協働による自立した元気のある町づくりに傾注されることを強く望みます。



進む防災情報センター建設工事（江尾）

## 監査留意事項

一、一般会計、特別会計の未済額について、景気低迷の中で大変であるが徴収事務に一段の努力を図りたい。

二、公共施設の管理運営と効率化。

特に、笠原市民農園の効率的運営。

三、江府町農業公社による農業振興対策の効率の展開。

四、地産地消による地場産業等の育成と地域経済。

五、下水道未整備地区の早期普及。

六、各般の政策課題推進にあたっては、女性参画はもとより、各種団体の理解、協力。

七、職員からの施策提案制度。





# 決算の審議

## 一般会計

平成15年度決算審査での主な質疑をあげています。

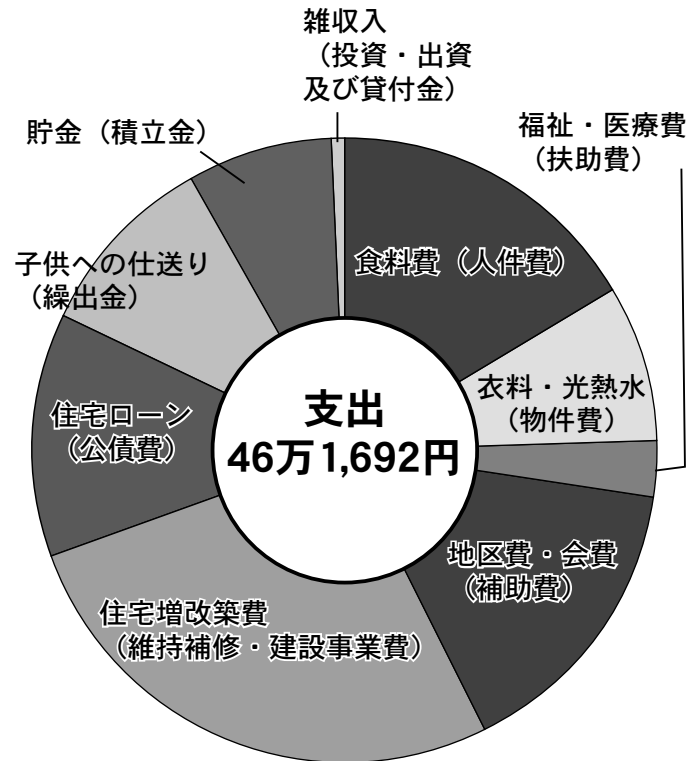
### 平成15年度江府町一般会計歳入歳出決算

歳入決算額	4,740,727千円
歳出決算額	4,619,914千円
16年度へ繰り越す額	120,813千円

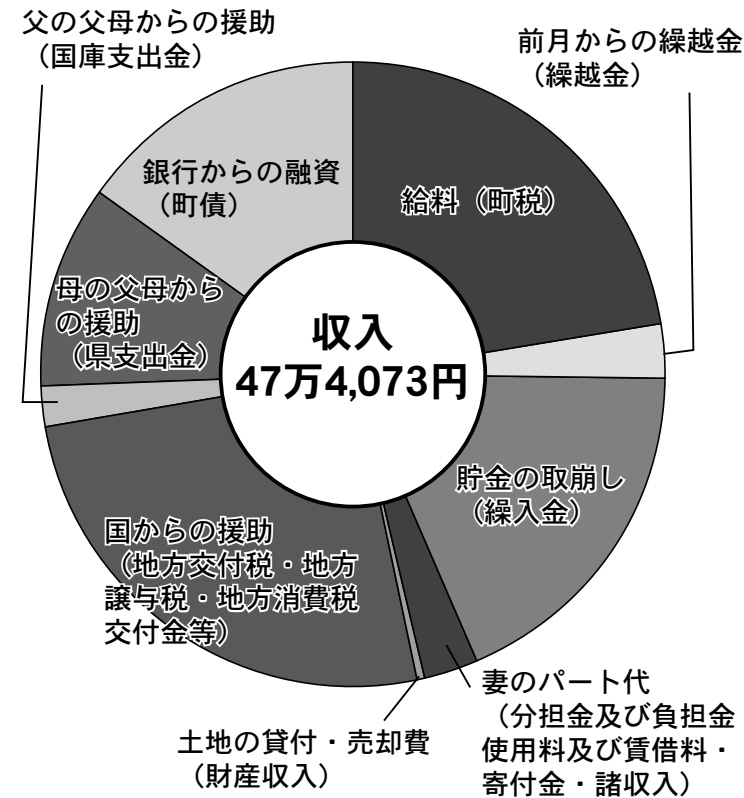
### 平成15年度江府町家の歳出決算

食料費 (人件費)	75,913	16.4%
衣料・光熱水費 (物件費)	37,512	8.1%
福祉・医療費 (扶助費)	13,452	2.9%
地区費・会費 (補助費)	69,984	15.2%
住宅増改築費 (維持補修・建設事業費)	124,132	26.9%
住宅ローン (公債費)	58,040	12.6%
子供への仕送り (繰出金)	44,816	9.7%
貯金 (積立金)	34,735	7.5%
雑収入 (投資・出資及び貸付金)	3,108	0.7%
<b>支出決算額</b>	<b>461,692</b>	<b>100%</b>

### これを家計に



### たとえると??



### 平成15年度江府町家の歳入決算

自主財源	給料 (町税)	106,477	22.4%
	前月からの繰越金 (繰越金)	13,228	2.8%
	貯金の取崩し (繰入金)	86,959	18.3%
財源	妻のパート代 (分担金及び負担金・使用料及び賃借料・寄付金・諸収入)	13,072	2.8%
	土地の貸付・売却費 (財産収入)	1,710	0.4%
依存財源	国からの援助 (地方交付税・地方譲与税・地方消費税交付金等)	121,201	25.6%
	父の父母からの援助 (国庫支出金)	10,051	2.1%
	母の父母からの援助 (県支出金)	49,965	10.5%
	銀行からの融資 (町債)	71,410	15.1%
<b>収入決算額</b>	<b>474,073</b>	<b>100%</b>	



防災備蓄品



水工場建設地

**Q** ヘリポートの備蓄は 美用ヘリポートの備蓄食料の状況はどうなっているか。

**A** 非常用食料として乾パン、飲料水等備蓄しており数量や有効期限等チェックしている。又この費用は単町費である。

**Q** せせらぎ公園は せせらぎ公園の管理棟は利用がされていないが。

**A** 情報防災センター、庁舎建設、図書館等と合わせて総合的に見直す中で利用を検討している。

**Q** せせらぎ公園は せせらぎ公園の管理棟は利用がされていないが。

**A** 情報防災センター、庁舎建設、図書館等と合わせて総合的に見直す中で利用を検討している。

**Q** 防災情報センターは 今年完成する防災情報センターの内部の配置や活用方法は。

**A** 現在課内で最終調整をしております。出来が、子供たちが集えるような図書スペースなどを考えている。又、周辺整備も含めて整理していきたく。

**Q** 公用車は 公用車の見直しをする考えはあるか。

**A** 消防車、除雪車等特殊車両を含めて41台あるが既に町長車は2台から1台にしたが今後全体の見直しを行いたい。

**Q** 水工場の雇用は エバーランドと中間地点に建設される水工場の雇用計画は。

**A** ㈱グリーンステーションとして来春3名の地元社員を募集する予定です。要綱が出来次第全町にチラシを配布したい。将来工場増設を計画しており雇用も増える見通しです。

**Q** 消防費の負担は 西部広域管理組合として町村に割り当てられる負担は町村合併によって負担割合が見直されるか。

**A** 西部町村が14市町村から9市町村となる為、現在調整中であるが当町としては当初の負担を基準にすべきとの考えで交渉している。

情報基盤の整備は

Q 江尾地区は、ADSLが整備されたが日南町のような全町ケーブルテレビの接続等の考えは。

A 日南町の事業は補助事業であり、現在各町手を上げておらずに事業化するの難しい現状です。只、必要な事業と考え今後も積極的に取り組んで行きたい。

老健施設建設は

Q 武庫地区に建設予定の介護老人保健施設は最近になって日野町議会の同意を得たと聞くが、建設の陳情は当初、日野病院院長堀江先生より出されており日野病院運営の改善という視点もあつたが、どの様な認識か。

A 介護老人保健施設建設は言われるような経緯と地元の要望にこたえて進めてきましたが、新院長浜副先生に今議会中に日野病院運営の基本方針を説明して頂きその後、松岡病院事務局長とも話し合いを持ち意思の疎通を図りたい。その上で、日野町ともコミュニケーションを取り組みたいがら建設に取り組みたい。

過疎バス対策は

Q 年間約1400万円をかけて運行しているが、現状では空席が多く又、十分住民の要望に答えていない。今後、小学校統合や診療所、買い物等の利便性を考え住民

の交通手段について根本的に検討をすべきだが。過疎バス対策は毎年、審議会で検討していますが確かに現状はバスの大きさ等改善すべき点があります。今後の小学校統合を睨んで総合的に検討を進めて行きたい。

地籍調査は

Q 平成11年から平成15年に俣野地区において地籍調査が行われ16年度からは助沢で進められるが地元地権者との摩擦や財政難の中で一般財源を使い実施する必要があるのか。

A 地籍調査は、国の方針で進められるもので、調査を進める事で災害の際の円滑な復興などを進める際の基礎となります。県内各町村とも行っていますが、江府町は遅れているほうです。

ボランティア育成は

Q ボランティア育成補助制度が出来ていますが、現在の状況は。地域が助け合つて健康に又、活性化

につなげるようにとスタートし、現在24団体が取り組んでいます。助成金額は年間5万円程度であり金額的には僅かですが今後の高齢化と過疎化を乗り切る地域の自主的活動を育てる為に続けて行きたい。

未収金は

Q 一般会計の未収金が不納決損額208万円、過年度分497万円、現年度分110万円となつているが回収の状況は。

A 県下では佐治村にいい徴税率ですが長期固定化しています。回収については納税しやすいよう当人と分割の相談等を行い納税指導を行っているところです。



老健施設建設予定地 (武庫)



地籍調査 (助沢)

**特別会計（15会計）****総額 23億390万円**

前年対比約17.0%増(3億4353万円)となり  
一般会計、基金より2億9444万円繰り入れ

・ 情報公開	5万円
・ 住宅新築資金等貸付事業	853万円
・ 国民健康保険（事業勘定）	2億9769万円
・ 国民健康保険（施設勘定）	1億4257万円
・ 老人保険	7億3153万円
・ 介護保険（事業）	3億5313万円
・ 笠良原市民農園	779万円
・ 特定農山村地域	1154万円
・ 簡易水道事業	1億7653万円
・ 農業集落排水事業	2億4272万円
・ 林業集落排水事業	315万円
・ 特定環境保全公共下水道事業	3億1054万円
・ 江尾財産区	57万円
・ 神奈川財産区	1564万円
・ 米沢財産区	194万円

# 特別会計

## 住宅新築資金は

**Q** 今日の厳しい経済状況の中での償還状況は。

**A** 他町村との比較では良好であるが、今後滞納が拡大しないように努力します。

## 国保税の納入状況は

**Q** 国保税の滞納が増加傾向であるが今後の対応は。

**A** 滞納の契約書により、短期保険証を発行し集納率を上げる。

## 診療所の運営は

**Q** 中山間地域の診療所の経営は厳しいと思うが運営状況は。

**A** スタッフ一同の努力により約1億円の黒字決算となった。反面待ち時間も長くなり迷惑もかけている。又武地医師も激務であり、今後は医師二人体制、看護師の増員も検討します。

## 老健施設の建設は

**Q** 町民の大きな願いでもある老健施設は厳しい日野病院の運営にも寄与できると思うが現状は。

**A** 日野病院には必要であると日野町議会にも伝えている。日野病院で管理するとの院長の思いもあるので十分検討します。

## 市民農園の今後は

**Q** 笠原市民農園の運営が根本的に問われている。今後は。

**A** 町長からも検討するよう指示。今後運営委員会でも協議検討します。

## 特定農山村地域活動支援事業は

**Q** 魚崎、西ノ島との交流は継続か。

**A** 特定農山村地域活動支援事業は、平成15年度で終了ですが、今後も継続事業として、農産物の販売拡大等に努力します。

## 農業集落排水は

**Q** 農業集落排水の未整備地区は。

**A** 施工中を含め70%以上が終了。残りは美用・小原・杉谷・宮市原・宮市の6集落です。今後は集落と協議の上、集排か合併浄化槽か協議検討いたします。

## 御机集落への補償は

**Q** 水工場の水利用の使用料金の今後は。

**A** 御机水道資源利用振興委員会で検討し、16年度中には結論を出す予定です。

## 分收造林は

**Q** 分收造林の割合の変更は。

**A** 平成10年までは公社60%、地元40%であり、平成11年以後は70%と30%の分収割合となっているが、これを全て公社80%地元20%に変更の要望がでています。



市民農園収穫祭（笠原）



# 決算特別委員会参考意見

## 一般会計

江府町は住民投票の結果、単町を選択することになりました。国の三位一体の改革が叫ばれる中、交付税の削減など厳しい財政状況となっています。平成15年度末の経営収支比率は87・4%、地方債残高70億円となり、逆に積立基金残高は10億円となりました。

今後、将来の財政計画を早急に立てるとともに職員の数や給与の見直しを含めて抜本的な行財政改革を実行して頂きたい。

**1 情報防災センター**  
今年完成予定となっているが、その活用方法は将来予定されている庁舎建設や周辺の利用を視野に入れて十分検討して頂きたい。

**2 介護老人保健施設**  
来年建設に向けて県と



久連分譲住宅

調整が進んでいます。この建設の大きな契機となった堀江元日野病院長からの建設の陳情等、今までの経緯を日野病院、日野町議会等関係者に充分説明し理解を求めて進めて頂きたい。

**3 西部広域行政管理組合負担金**

西部市町村が市町村合併により14から9市町村になるのに伴い、西部広域行政管理組合負担金等負担割合の見直しとなります。見直しについては、

現在までの経緯を十分踏まえ調整をして頂きたい。

**4 情報システム整備事業**  
1億8千万円をかけ町内のADSL等整備されました。

今後とも全町を高度情報社会にしていく様取り組んで頂きたい。

**5 過疎バス対策**

年間約1400万円の経費が必要となっていますが、今後小学校の統合、住民の医療、買い物物の利便性等を考慮し計画を立

てるよう要望します。

**6 住環境整備**

久連住民が待ち望んでいた橋が、約4億6千万円かけ完成し鉄穴（かなな）橋と命名されました。これによって周辺住民の利便性が高まりますが、久連分譲住宅地7区画の内残り3区画について積

極的にアピールし早期完売に努力するよう望みます。



鉄穴（かなな）橋



# 決算特別委員会参考意見

## 特別会計

1、住宅新築資金等の償還状況は、他町との比較では本町の状況は良い方であるが、滞納が拡大しないよう注意されたい。

2、厳しい社会情勢の中で国保税の滞納が増加傾向にあるが、きめの細かい対応の必要性を感じます。健康で暮らせる町づくり、病気になるない町づくりが、本町の町づくりの一つの目標であると思います。

予防医学、未病医学、教育活動の展開を望みます。

3、武地先生とスタッフ一同の真剣な努力により、本町の医療機関としての役割は十分発揮しており高い評価が出来ると思いますが、診療所の収益については武地医師の思いも尊重し、運営委員会で検討されたい。

4、老健施設の建設は、町民の大きな願いである。

そして、厳しい日野病院の運営にもこの建設は、寄与できると思える。当初、日野病院からも本町にその思いを話された経過もある。それぞれの機関とも、十分意思疎通を図られ、立派な施設が建設運営できるよう、鋭意努力されたい。

5、笠良原市民農園の運営をどうするか、根本的に問われている。農園がすべて利用されても、数字の上では赤字である今日、あり方、位置づけに

ついて運営委員会で徹底的に話され、他の市民農園の情報も調査され、今後の方向を示されたい。

6、特定農山村地域活動支援事業については、一応の任務は終えることになるが、米の販売、拡大また魚崎町、西ノ島との交流事業は継続事業として、今後も創意工夫され、本町まちづくりとうまく符号されることを望みます。

7、下水道事業は、70%以上の事業が行われ、残



西ノ島経済交流 (西ノ島町)

りは美用、小原、栗尾、杉谷、宮市原、宮市になつていて、地域の要望もあるのので、厳しい財政事情であるが、町の重要政策の一つとして英知を結集し、事業が遂行できるよう努力されたい。



公共下水道工事 (柿原地内)

8、御机集落の上・下水道、他の事業について、町として大きな支援を行っている。今日、江府町地域振興株式会社の運営は厳しい状況である。町に対して、水利権の主張も考えられるが、今日まで支払ってきた水工場の

水利用料については、支

払い中止か大幅な減額を集落に申し出て、この点を達成されることを願うものである。

9、分収造林の割合の変更については、本委員会は承認できないと同時に、反対であるという意思統一を行った。

# 一般質問



## 町長の政治姿勢と町政担当の決意について

日野尾 優

問	行財政改革は
答	地域再生推進委員会(仮称)を設置取組む

合併せず単独で町づくりを選択した今、自立再生へ向け行財政改革が待ったなしとなりました。議会においては「議会等改革に関する調査特別委員会」を設置し真剣に議論しております。行政も「地域再生本部(仮称)」とか「町づくり委員会(仮称)」を設置して積極的に取り組む必要がある。改革実施計画について伺う。

次に、財政について、地方交付税、税収の減等歳入減と公債費の増など厳しい現状であり、中期の財政の樹立が急務と存じます。町長に行財政改革の所信を伺う。警察署の統廃合、駐在所の再編計画が報道されていますが、身近な安心、安全、今後の防犯対策等について併せて町長に所信を伺う。

町長答弁  
私は「小さくても元気で明るい輝きのある町づくり」「町民に身近な行政」を基本理念とし、行政改革を進める上には、まず、職員と町民が一体となつて改革に取り組むことが必要で、集落へ積極的に出かけ「江府町の町づくり」について語り合う機会を設けたい。具体的な行財政改革は  
一・行政内部の改革  
二・団体、集落等に関する改革  
三・公共、利用料金などの見直し等「江府町地域再生推進委員会(仮称)」を設置し実行に移したい。財政改革については、投資的経費は、住民生活に身近な修繕事業を基本とし、大型事業は必要且つ優先的な順位をもって計画的に実施する。警察の件は、溝口警察署に幹部派出所を設置、地域警ら専門の自動車警ら隊を置き許可手続き等の窓口を設置対応する、江尾駐在所は存続させ、武庫と宮市は廃止する方針とのこと。

問	町の将来構想は
答	安心に暮らせる町づくり

21世紀を迎え高度情報化、国際化、少子高齢化等種々な課題を抱える町行政には、当面する問題として、学校統合問題、老人保健施設、庁舎建設、農林業、商工業振興、観

光事業取組など課題が山積しておりますが、町の将来構想について町長に所信を伺う。  
町長答弁  
町づくりの基本は人であり、子育て教育環境の充実や、高齢者の安心安全な生活支援を進め、元気で明るい町づくりを実践して行きたい。恵まれた資源を有効活用し、自然的立地条件にマッチした企業の誘致を率先して推し進め、地域の雇用場を拡大し、安心に暮らせる町づくりを目指したい。



21世紀の人づくり (こうふ体験塾)

# 一般質問



## 行財政改革と町づくり 対策について 田中幹啓

が、新町長に改めて決意と抱負を伺う。

### 町長答弁

町民に分りやすく、透明な町づくり、そして町民の多くの声をしっかりと聞き、町づくりに活かし、町民と共に進めます。具体的には、各課内の検討会による事業の見直し、町民代表を含む専門部会による検討等協議を重ね地域再生推進委員会へ提案して行きたい。当面の取組みといたしましては、人事評価の導入、退職勧奨制度の創設、集中管理により物件費の削減、職員定数を含む人事管理の実施、人件費の見直し等に取組む。財政は補助金負担金更に公共料金等の見直しも視野に入れ、検討します。

問	自立の町づくりの決意と抱負は
答	地域住民と一体となった行政を実行

自立の町づくりが決定し、将来の町づくりのためには町民が心を一つにするときで、痛みを共有しながら進めることです。厳しい時代に突入した中で議会と執行部は車の両輪の精神を持って協調の輪が必要である。財政状況は義務的経費が占める割合が上がり、投資的経費をどう捻出するかという政策課題もあり、行財政改革が町政の重要なテーマの一つになっている

問	図書館行政は
答	生涯学習の拠点として充実する

教育長答弁  
今日の生涯学習時代に欠くことのできないのが図書館であります。図書館運営の視点は、文化の発信地、くつろぎの場等と考えております。現在の蔵書数は19360冊、貸出冊数は17952冊です。視聴覚資料は、ビデオ344本、パソコンソフト2台設置しております。現図書館は面積が狭く蔵書数を増やせない状況です。情報センター開設により明るく、利便性、やすらぎの空間として、町民の皆様のサービス向上に努めてまいります。

問	お手玉の普及と健康対策は
答	啓発に努める

金がかからなく、日本の伝承文化である、お手玉を町民の健康と協調のため普及したらどうか伺う。

### 教育長答弁

全国各地でグループが結成され大会も開催されています。お手玉は家族中高年問わず取組が出来ますので、機会あることに啓発したい。

図書館は無限の情報を公平に提供し、地域の知のバロメーターであります。現状をどのように考えておられるのか。また、建設中の情報センターに移動するとも聞いているが、本の収納等スペースはどうか、図書館行政について伺う。



生涯学習（図書館）



# 議員提出議案

議員発議により、江府町議会の議員の定数を定める条例の一部改正が提出され、原案どうり全会一致で可決されました

江府町議会の議員の定数は現在14人であるが、10人と改める。

この条例は、平成17年1月1日以後初めてその期日が告示される一般選挙から施行する。

## 地方行政調査特別委員会の設置について

一、自立に向けた将来ビジョンを平成16年2月に作成された長野県小布施町の、住民の役割と官の役割を明確にしたまちづくり。

二、村民の自主性と連帯性を強め、村民の創意と力を生かしたむらづくりを進めておられる長野県榮村。

以上を調査し、今後の江府町の町づくりに活かす。

総務常任委員会  
経済建設常任委員会  
教育民生常任委員会  
各常任委員会の所管事務調査を平成16年10月4日から11月30日の間に実施

定例会最終日、議員発議により3件の意見書が提出され原案通り可決し、関係行政庁に意見書を提出しました。

一	地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進を求める意見書
二	郵便局の国営公社形態の維持についての意見書
三	三位一体改革に係る災害関係補助制度の堅持に係る意見書

## 地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進を求める意見書

わが国の森林は、古来、国民生活と深くかかわってきた。木材の生産はもとより、災害の防止、良質な水の安定的な供給などを通じて、安全で豊かな生活が築かれ、多くの日本人にとっての原風景や信仰の対象となることで精神活動も支えられてきた。

また、私たちが生活していくことのできる環境を守る上で、重要な役割を果たしている。

特に、近年では、地球温暖化の主たる要因である二酸化炭素の吸収源として重要な役割が期待されている。

地球温暖化対策については、京都議定書に定めるわが国の温室効果ガス削減目標6%のうち、3.9%を森林による吸収量で確保することとしており、削減約束の達成には森林の健全な育成が不可欠なものとなっている。

しかしながら、我が国の森林整備を担う林業は、国産材需要の減少を要因とする木材価格の低迷等により採算性が大幅に悪化している。

この結果、我が国の森林は、間伐などの必要な手入れや伐採跡地での植林が行われず、このままでは吸収量が確保できなくなるばかりか、森林の持つ多面的な機能が大幅に減退する恐れがある。

このため、森林整備に必要な財源を確保し、併せて国産材の利用を推進することにより、森林吸収源対策を確実に進めていくことが極めて重要である。当対策の推進は、林業の活性化を通じて、山村地域の振興にもつながるものである。

よって、国におかれては、森林整備の諸対策を一層充実させ、森林の持つ多面的な機能を高めることと併せ、温暖化対策税の創設とその税を森林整備を推進するための新たな財源と位置付け、地球温暖化防止のため森林吸収源対策の確実な推進と山村の活性化を図られるよう地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年10月1日

鳥取県日野郡江府町議会

# あなたから出された陳情の結果

みなさんから提出のあった陳情を常任委員会で審査し、委員長の報告を受け9月定例議会本会議で審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
「国民保護法」「米軍行動円滑化法」など所謂有事関連7法に関わって自治体の意向尊重と「思想・信条の自由」の保障、非核三原則の反映を要求する意見書提出についての陳情書	米子市角盤町4-21 反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 梅津 浩治	趣旨採択
森林・林業政策の充実についての陳情	日野郡日野町舟場277-3 鳥取日野森林組合 代表理事組合長 生田 榮 他1名	採 択
温暖化対策税創設に関する意見書提出についての陳情書	日野郡日野町舟場277-3 鳥取日野森林組合 代表理事組合長 生田 榮 他1名	採 択
郵便局の国営公社形態の維持について意見書採択を求める陳情書	日野郡日野町黒坂1228 ひの簡易保険加入者の会 会長 石田 茂雄 他1名	採 択
女性農業委員数の確保に向けた要望書	鳥取市立川町6-176 鳥取県農業会議 会長 竹中 登	採 択
女性農業委員数の確保に向けた要望書	鳥取市立川町6-176 鳥取県農業会議内 鳥取県女性農業委員の会 会長 恩田 記子	採 択
国の財政策再建優先の「三位一体改革」でなく、地方分権のための地方財政改革を進める意見書採択を求める陳情書	鳥取市美萩野3丁目102 自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	趣旨採択

# 教育委員の選任について 同意しました

平成16年9月30日で任期満了の江府町教育委員の木村悦子さん、手島征夫さんの後任に井上廉女さん、宮本師子さんを選任することに同意しました。

教育委員に

井上廉女さん  
(江尾)



教育委員に

宮本師子さん  
(俣野)



# 第7回(8月)臨時議会で 固定資産評価委員会委員の選任について 同意しました

平成16年8月16日で任期満了の江府町固定資産評価委員会委員に小林榮さんを再任することに同意しました。

固定資産評価

委員会委員に

小林 榮さん  
(江尾)



## 議会等改革に関する 調査特別委員会

### 調査特別委員会

6月定例議会で設置された議会等改革に関する調査特別委員会の、その後の調査状況は、次のと

おりです。

委員会は町民の傍聴も  
していただいております

#### 第1回(7月14日)

議会の活性化に関する今後の進め方について検討し、議員定数、議員報酬、政治倫理条例について検討していくこととした。

#### 第2回(7月29日)

議員定数、議員報酬、政治倫理条例についてそれぞれ意見を交わした。

#### 第3回(8月10日)

①議員定数について

(現在 14人)

財政面から10人が適当ではないか。

12人の定数で、報酬額を12分の10にしては、

などいろいろの意見があったが、採決の結果10人とすることが決定。

#### ②報酬について

(現在17年3月末までの1年間5%のカットをしている。)

10%カットや、西部町村の今後の状況をみてはなどそれぞれの意見が出された。

費用弁償については、町内の費用弁償は無くす

る。また町外については日当部分は支払わないことを決めた。

③政治倫理条例について

委員長から政治倫理条例案が示された。

#### 第4回(8月31日)

#### ①議員報酬について

カットに関する意見が出される中、今後の江府町の行財政改革と合わせて検討することとした。

#### ③政治倫理条例について

条例の目的等議論したが、もう少し個々に勉強をしてはということとなった。



川上富夫議員は、一身上の都合により平成16年9月17日付けで辞職願を提出し9月21日に許可された。



# ひとこと



洲河崎 佐々木節子

## 子供と お年寄りは町の宝

高校卒業後地元を離れていましたが、再度江府町に帰り、二十一年が経ちました。その間に三人の子供を江府町の美しい大自然の中で、育てられた事に対し感謝したいと思います。子供達は、小規模校の中で楽しく学校生活を送り、親子共々色々な体験をする事ができ、子供達の成長・自信にも繋がったと思います。共働きの私達にとって、子供を育てることは大変な事でした。今日の子供達の成長は、今は亡き両親が、愛情を持って育ててくれたことにあり感謝の気持ちで一杯です。

江府町においても少子高齢化が進み、子供達の健全な育成と、高齢者の方々が住みなれた土地で心豊かに生活が出来るように取り組んで行かなくてはなりません。幸いにも武庫地区に老人

保健施設の開設が計画されています。江府町に住みなれた方で、他施設に入所されている方は、地元の住み慣れた地・顔見知りの人達と共に、安心して生活ができるようになれば素晴らしい事だと思っています。子供達の不登校問題・ストレス社会の中で押しつぶされた人に対し、皆がやさしい思いやりの心を持つ事により少しでも緩和できるのではないのでしょうか。心の病は心を持って対応する事により改善されると言われます。ひとごととして捉えず一人一人が取り組んで行かなくてはいけないと思います。

私の地区では幸せ町づくり事業として、昨年より敬老会を行なっています。女性会が中心となり食生活改善委員、子供、父親、地区の役員と共に、小規模ではあります但演芸や、ご馳走を作りお年寄りに喜んで頂いています。

近い将来私も年老いて行きますが、その時江府町に住んでいて良かったと思えるように、医療、福祉の充実を図り、次世代を担う子供達に対しても優しい思いやりのある町づくりを心より願っています。

## 江府町商工会 青年部活動について



武庫 奥田 恭祐

商工会青年部に入学して、十年たち平成十五年より青年部部長に選任されました。青年部の設立は、昭和四十年七月二十三日で、創立三十八年となり現在部員数は、賛助部員も含め十四名います。

青年部の主な事業活動は、町内職域体育大会への参加、江尾十七夜祭りの江美城太鼓、賑わい創出事業の土曜ふれあい夜市の開催などがあります。現在の部員数からすると、これらの事業を行うには、部員数の減少もあり先輩部員の方々に応援していただきながら事業活動を行っています。その他、県下青年部員との意見交換会、交流会などの事業にも積極的に参加しています。青年部事業活動の中でも一大イベントである土曜ふれあい夜市は、晴天でも恵まれ子供から大人まで沢山の方々に来ていただき、盛大に行うことが出来たと思います。これからも地域の方々と

のふれあいを大切にし、二十五年間続いていく土曜ふれあい夜市を続けて行きたいと思っています。

青年部活動も、行政、地域の方々とのつながりを大切に行って行きたいと思っています。町は五月二十三日に行われた住民投票で、反対多数の投票結果により、単独町政を決定されました。今後は厳しい財政運営が必要となると思いますが、江府町の恵まれた自然と資源を活用し、地域住民の声が生かされる多くの若者が定住できるような町づくりを目指して頂きたいと思っています。

現在日野郡四町の商工会で組織する、日野郡商工会協議会では、青年部を主体に、日野郡特産のソバを活用したオリジナル商品作りに取り組んでいます。若手後継者事業の一環として、鳥取県商工会連合会、日野郡内各商工会より補助金を受け行う事業です。日野郡のソバ栽培は、平成十二年の鳥取県西部地震で、水田の水路が壊れたことを契機に転作作物として、急速に普及し鳥取県内屈指の産地に成長しました。現在若手中心で、青年部のない溝口を除く、日南、日野、江府の商工会青年部から三名ずつ計九名で、六月に地場産業をおこし実行委員会を発足しました。江府町内の菓子製造業者の方にもご協力を頂き、日野郡産のソバ粉を使ったソバサブレと、ソバクッキーが完成しました。子供から大人まで、幅広い年代の方々に召し上がって頂ける商品だと思っています。日野郡内で、出来上がった新商品四・五点を十一月二十六日から三日間、東京の池袋サンシャインシティで開かれる、第十八回全国むらおこし展に出展する予定です。今回の商品開発が、地場産業おこしの出発点になればと思います。

## あとがき

この秋の不順な天候で農作業が予定通りに進まなかった方が多くおられると聞いています。

新町長体制になって3ヶ月が過ぎました。単独町政を選んだ江府町にとっては一日でも予定より早く行財政改革を進めなければなりません。

議会としても「議会等改革に関する調査特別委員会」を設置し、次回選挙から議員定数を4名減の10名とすることにしました。今後は議員報酬、倫理条例その他いろいろ論議し江府町発展のために頑張らなければならぬと考えています。

天候は不順でも江府町はいつも快晴で過ごしやすい町にならなければなりません。

浜本伸介

編集委員長

副委員長

委員

浜本伸介

池田成弘

日野尾優

上原二郎

川端雄勇